ほんねの（生活）短歌

この頃は　足がもつれて　倒れそう　気味つかまり棒でやっと動ける（ふらふら）

〃　目がかすみがちがんばって　頭筋ほぐし　ひまにまかせて（ぐったり）

〃　忘れることが　多分りき　家族にたより　依存度アップ（ぐったり）

〃　月遠くなり　聴き流すとくに低音　いらだちつのる（ぐったり）

〃　くすりを飲んで　すぐ忘れ　二重にのんで　胸やけとなる（ぐったり）

〃　消しごむがなく　買いたいと　家族に言うと　在庫出しくる（ぐったり）

〃　やること多く　手間がかかる　処理能力の　向上期待（ぐったり）

〃　日本食　好きになり　割引寿司を　スーパーで買う（ぐったり）

〃　コーヒーブラック　好きになり　少しうすめて　個々の楽しみ（ぐったり）

〃　ごはんや魚　野菜など　雑炊にして　満腹とする（ぐったり）

〃　けい帯に　不審電話は　番号をみれ　すぐに切断（ぐったり）

〃　この頃は　寒暖の差が　はげしくて　着たりぬいたり　頭ふらふら（ぐったり）

〃　身体中　こりと痛みに　覆われて　もみとほぐしに　手間ひまかかる（ぐったり）

せんべいを　~~食べてみた~~　~~久ぶり感~~　~~味~~　~~おいしさ~~　~~ふたたび~~　~~ポリパリ~~　よい歯ごたえ　食感の余韻にひたる（ぐったり）

松原伸伍　アシスタント